

東海学連

個人的意見は個人的にメールをもらった内容の一部、またはほとんど。
上のほうのは、ミーティングで話し合われた内容と、メールで集めた中で多かった意見。

やる？ やらない？

- ・完全なやり直しじゃなくてもいいからやってほしい
- ・開催するかどうかはインカレとしての公平性など、大会のクオリティによる
- ・エリートで走った人が、大事な用事や怪我以外で走らないのならやらない

誰が？ いつ？ どうやって？

- ・ミドル・リレー直前直後は精神的、体力的に厳しい
- ・ミドル・リレーに集中できる時期にやってほしい
- ・全日本大会に被せるのは管理栄養士の試験があるため、出場できない人がいる
- ・山स्पetteなに？
- ・今ある大会(山リハ、全日本リレー、昼生大会など)にクラスを作ってもらって、学生が運営を手伝う
- ・理由があって出場できない人の分の枠は？

やらないとしたら？

- ・やらないなら枠は現状維持？

出走したエリートの個人的意見

- ・走って完全燃焼したし、もう走りたくないけどやってもいいよ
 - ・ロングについては正直なところ、自分自身どうしたらいいのかわかりません…。たった8回しかないインカレの1つがこのまま無くなってしまうのは、どうしようもなく寂しいし、悔しいです。それに私はロング選手権で表彰台にのぼったことがないので、4年のロングでは入賞(というか、実は優勝)したいという思いが強くありました。やり直しロングで入賞ラインに入るかはわかりませんが、チャンスがあるなら挑戦したいという気持ちはあります。しかし、私は11/21に最高のパフォーマンスができるよう調整してきましたし、その後はミドル・リレーに切り替えたい、という思いもあります。ロングもとても大事ですが、個人的にはミドル・リレーの方が思い入れがあるので、やり直しロングを2月以降にやるとして、ミドル・リレーへの準備が1ヶ月しかないのは辛いです。…色々言いましたが、そういった思いを踏まえてでも4年のインカレロングをしっかりとやり遂げたいかなとは思っています。
 - ・賛成。インカレロングチャンプ不在や未出走者がいるのはすっきりしない
 - ・不完全燃焼に終わってしまったインカレロングのやり直しができるのならばぜひやってほしい。ただ、俺の場合は完全に俺個人に責任があるわけで、あくまで走れなかった人、特に四年生の意見を尊重するべきだと思う。やり直しの方法としては、細かいところまでこだわるつもりはありません。できれば学生の方で演出だとかもなんとかこれまでのインカレロングのようにできたらいいな、と思うくらいです。あとは、不成立のせいで悔しい思いをした水野さんや田邊を学連として特別表彰とかしてくれないかなって少し思ったり。暫定一位からの不成立はあまりに不憫だから。
 - ・インカレロングの件ですが、もう一度やりたいです。出走できなかった人はもちろん、完走した人も残念な気持ちでいっぱいだと思います。涙を流している人も見られました。幸い選手権に出走できた自分自身もどこかモヤモヤしていて、インカレロングが終わった気が全くしていません。
- しかし、併設クラスの人との協力がなければ実現しないので、併設クラスの人との協力が得られればぜひもう一度やりたいです。

出走していないエリートの個人的意見

- ・今回走れなくて、頑張ってきたつもりなのでごく悔しいです。だからやり直ししてほしいです。四年生の先輩たちにとっても最後のロングだったし、今回のために頑張ってきた人たちもたくさんいると思うのでやり直ししてほしいです。私は昨年もエリート出られなくて(体調管理できてなかった自分の責任なんだけど…)、だからそれもあって、今回出走すらできなかったのはすごく悔しいです。あと来年もしエリートになれても、ロングの時期は院試等の場合もあるので出られないかもしれないので、今回はなおさら頑張ってきたつもりです。
- ・インカレロングでは毎年結果と共に自分を大きく成長させてくれた大会で、個人的にミドルやリレーよりも思い入れがありました。なので今回の不成立はとても残念でした。もしまた走れる機会が頂けるのであれば勿論走りたくいです。

一般の部の個人的意見

- ・できる限り手伝いたい(多数)
- ・エリートの人達がもう1回やり直したいって思うなら賛成です。でも、運営を併設の人達がやるとしたら3年生はこれから就活が始まるし、主には1、2年生が中心になってくるじゃないかなって。だから運営のお手伝いが可能なのが疑問点です。それに短期間なので…応援したいとは思いますが、自分には運営力はないし、周りの状況も分からないのと、一部に負担が集中してしまう気がするのではっきり賛成とは言えない

- ・今のところ反対だけど、エリートの人たちがやり直しを強く求めるのなら全力で協力します
- ・出走した人のなかで、良い結果を出せた人のことを考えると、反対。やるならエリート全員が納得できる形で行うべき